

課題名：予防医療プラザにおける骨塩定量検査受診者の骨粗鬆症
早期治療介入を目的とした取り組み

◆研究の目的と概要◆

骨粗鬆症に起因した骨折を未然に防ぐことは予防医療の重要な課題であり、健診レベルで潜在的骨粗鬆症患者を発見し、早期治療介入することが望まれます。しかし、骨粗鬆症は自覚症状が少なく病気としての認識も低いのが現状です。また、健診結果は後日通知されることが多いため、骨密度検査の測定値を受診者自身で理解することは難しく、専門医の受診に踏み切れない場合があります。

そこで、予防医療プラザの取り組みとして骨密度検査受診者のうち骨密度低下症例に対し、整形外科医指示のもと診療放射線技師が結果説明を行っています。検査直後に結果説明を行い専門医の受診を勧めさせて頂くことで、骨粗鬆症の理解や治療意識が高まり早期治療介入が期待できます。

本研究では、骨密度検査受診者に対する健診後の治療介入の有無を調査させていただきます。この取り組みの効果を得ることができれば健診から診療が効率的となり、骨折予防に繋がると考えられます。

◆対象となる方◆

2018年4月～2020年3月に、予防医療プラザ（旧 総合保健管理センター）において、骨密度検査を受けられた方。

◆研究に使用される情報◆

骨密度検査時の年齢、性別、骨折の既往、手術歴、骨密度測定結果、カルテの受診歴

◆研究方法◆

本研究では骨密度検査時の結果説明の有無と、その後の受診または治療介入の有無の関係を測定結果やカルテ等から調査させていただきます。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
放射線技術部 亀井山弘晃

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明